

Ⅱ. (3) GS 課題探究重点講座 課題研究成果〈1年生〉

シュタットベルケを成功させるために～一人ひとりが暮らしやすい能勢町作り～ 1年 大西琉斗、 合田周平、 中植航太

ドイツの「シュタットベルケ」とは自治体が出資して作った電力会社で、ドイツ全国に約 900 ありドイツの電力の約 50% を供給している。総合インフラ企業としてのシュタットベルケの強みは、各種の事業が連携し、ひとつの事業で赤字が出てもほかの事業で相殺し、全体として地域の各事業が存続できることだ。例えば、赤字のバス事業を黒字のエネルギー事業で補うことができる。

今年度は、川又さん講演（5 月）、榎原さん講演（10 月）、磯部さん講演（11 月）、川又さん講演（12 月）があり、これらの学びを基礎に課題研究を行った。

川又 孝太郎さん（在ドイツ日本国大使館参事官）の講演（5 月）では、石油が 40 年、石炭が 227 年、天然ガスが 61 年、ウランが 64 年で枯渇するということであった。また、一次エネルギーの 68% が廃棄されるエネルギーであり、「もったいない」と感じた。

榎原 友樹さん（E-konzal 代表）の講演では、私たちの地域にとっての SDGs とは何かについてお話があり、SDGs で大切な 5 つの P（人間 (people)、地球 (planet)、豊かさ (prosperity)、平和 (peace)、パートナーシップ (partnership)）について学習した。また、磯部 達さん（みやまスマートエネルギー代表）の講演では、日本版シュタットベルケと地域活性化の取り組みについて学んだ。人口が少ない→雇用が少ない→人が集まらない、という悪循環を変えるためには、地域でそれらを解決できる事業が必要であるとわかった。

第 2 回目の川又 孝太郎さんの講演（12 月）では、高校生の私たちにはなにができるかをテーマにワークショップを行った。また、みやま PHD と E-Konzal と能勢町の合同の懇談会で、私たちの疑問や質問に答えていただいた。能勢町でのシュタットベルケはハードルが高いが、私たち高校生ができることも多いことを学んだ。

ビジネスプラングランプリ（日本政策金融公庫主催 2019 年 1 月開催）に参加し、「エコタウン能勢」をコンセプトに、グリーンウッドワークでクレヨン作りと里山保全を結び付け能勢の認知度を上げるという発表を行った。

エコタウンを実現するために高校生にできることは、能勢を知ること、シュタットベルケについて知ること、住民に向けて発信すること、住民と役場のかけ橋になること、などである。

シュタットベルケを学ぶために、私たちは能勢町主催のドイツ・ブリロン市での現地調査に同行し、シュタットベルケの視察をし、新電力について学び、ブリロン高校生の地域活動について聞き取りを行う予定である。私たち能勢分校生が能勢町で地域活性化に貢献できるよう活動を続けて行きたい。

シュタットベルケを成功させるために～一人ひとりが暮らしやすい能勢町作り～ 1年：大西琉斗、 合田周平、 中植航太

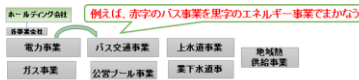
シュタットベルケを成功させるために
～一人ひとりが暮らしやすい能勢町作り～
合田・大西・中植



1

ドイツの「シュタットベルケ」とは
自治体が出資して作った**電力会社**
ドイツ全国に約900。電力の約50%を供給

例えは、赤字のバス事業を黒字のエネルギー事業でまかなう



2

全体の説明 能勢町地域連携公開講座

- 今までの学び
 - 1-1 川又さん講演(5月)
 - 1-2 榎原さん講演(10月)
 - 1-3 磯部さん講演(11月)
 - 1-4 川又さん講演(12月)
 - 1-5 まとめのミーティング
- 私たちにできること



3

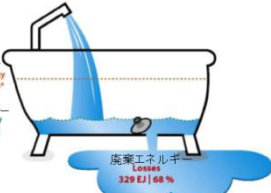
1-1 在ドイツ日本国大使館参事官 川又 孝太郎さん講演(5月)
エネルギー資源はどれくらいあるの？



このままだと、これらのエネルギー資源はいずれなくなってしまう！

4

1次エネルギー Primary energy 487 EJ | 100%
利用したエネルギー Useful energy 158 EJ | 32%
廃棄エネルギー Losses 329 EJ | 68%



5

ビジネスプランコンテスト
(堺商工会議所主催)



6

1-2 榎原 友樹さん(E-konzal 代表)講演
《私たちの地域にとってのSDGsとは》



7

1-3 磯部 達さん(みやまスマートエネルギー代表)講演
《日本版シュタットベルケと地域活性化の取組み》



8

SDGs 5つのP SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



9

地域活性のための取組み



この悪循環を破るためには地域で解決できる事業が必要

10

1-4 環境省環境計画課長(前ドイツ日本国大使館参事官) 川又 孝太郎さんの講演(12月)



11

高校生の私たちにはなにができるか？



12

能勢町議会議員との懇談会



13

1-5 まとめのミーティング
(みやまPHD+E-Konzal+能勢町)



14

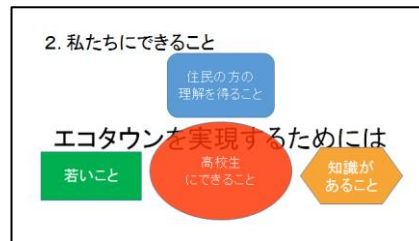
ビジネスプラングランプリ～1月～
(日本政策金融公庫主催)



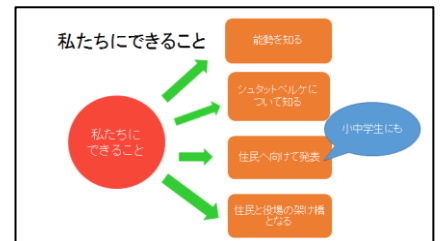
15



16



17



18

能勢町主催の現地調査に同行 そして、学ぶ

ドイツ・ブリロン市へ
(ノルトライン＝ヴェストファーレン州)
州政府、ブリロン市は歓迎ムード

- ・シュタットベルケを視察
- ・新電力について学ぶ
- ・ブリロン高校生の地域活動

↓ 学び

能勢分校生が能勢町で地域活性化に貢献

19



20